

令和5年度授業研究セミナー(道北ブロック 数学) 指導案検討会による学習指導案の主要な改善点について

第1回指導案検討会(9月12日(火)15:00～16:30 @Zoom)

主な検討点：題材観・生徒観・指導観の確認及び本時の展開

○学習指導案(第1版)において設定した本時のねらい(目標)

不等式の成立条件について、既習事項の結びつきを意識して複数の方針を立てて理解することができる。

【思考・判断・表現】

○学習指導案(第1版)における協議内容

【協議1】

- ・本時のねらい(目標)を達成させるための「問い」の設定をどのように行うか。

【協議2】

- ・本時のねらいが達成されたときに、達成した生徒の姿(身に付けさせたい資質・能力)はどのような姿であるか。

学習指導案の再検討・第2版の完成

授業研究チームの主な意見

- 単元を通して多様な考え方を自ら検討する力を身に付けさせたい。
- 探究的な授業としたときに、問いは適切だろうか。
- 2つのグラフの比較と範囲を予想するのはどうか。
- ICTを活用してはどうか。
- 授業者の本時のねらいの意図を汲むと、主体的に学習に取り組む態度の育成が評価の観点になるのではないかと。

第2回指導案検討会(9月27日(水)15:00～16:30 @Zoom)

主な検討点：本時のねらい(目標)・問い、期待される生徒の姿、教材研究

○学習指導案(第2版)において設定した本時のねらい(目標)

解く前に主体的に予想や実験をするとともに、既習事項の結びつきを意識して多様な解法を理解することで数学の良さに触れ、数学的思考に基づき判断しようとする。【主体的に学習に取り組む態度】

○学習指導案(第2版)における協議内容

【協議1】

- ・本時の目標(ねらい)、問いと授業の導入について

【協議2】

- ・評価場面において期待される生徒の姿について

【協議3】

- ・本時の展開に対する教材研究

学習指導案の再検討・第3版の完成

- 生徒が解きたいと感じる問いの展開になることが望ましい。
- Geogebraによって、グラフを比較し、探究する導入を取り入れるのはどうか。
- 評価場面において期待される生徒の姿を考え、評価規準は具体的に記述するとよい。
- 最初にグラフを提示すると、生徒は「接する」場合を検討するのではないかと。
- 置換の解法を提案するのはどうか。

第3回指導案検討会(10月2日(月)15:00～16:30 @Zoom)

主な検討点：本時のねらい(目標)、教師の手立て

○学習指導案(第3版)において設定した本時のねらい(目標)

不等式の成立条件について、既習事項の結びつきを意識して多様な解法を理解することで数学の良さに触れ、より良い解法を比較しようとする。【主体的に学習に取り組む態度】

○学習指導案(第3版)における協議内容

【協議1】

- ・本時のねらい(目標)について

【協議2】

- ・生徒に解法を比較・検討することを促す教師の手立てについて

学習指導案の再検討・修正

- 生徒に最もさせたい活動が比較であれば、評価の観点を思考・判断・表現と一体的に評価することが適切ではないかと。
- 生徒が発表することで授業が終わるのではなく、解法のよさが何であるのかを考えさせるのがよいのではないかと。
- 比較・検討する時間を十分に設けるため、それぞれの展開の時間配分について検討する必要がある。

学習指導案(最終版)の完成